

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) AZUSA TANIGUCHI
所属 (School) Graduate school of Engineering
学年 (Grade) M2

留学先 (Name of overseas institution)
Australia

留学期間 (study abroad period)
2016/10/20-2016/11/19

記入日 (Date) 2017/1/12

留学レポート Study Abroad Report

オーストラリアのアデレード大学にて、一か月間の短期研究留学を行いました。留学をしてみたいと思っていたので、研究室の先輩が経験していたこの短期研究プログラムを受けました。オーストラリアにした理由は、留学先の研究室が、わたしが行っている研究内容と近い研究を行っていること、そしてオーストラリアの自然豊かな環境で暮らしてみたいと思ったからです。結果、本当に有意義で楽しく、貴重な体験をさせていただいたので、紹介させていただこうと思います。

【出発するまで】

・留学先と日程

留学を希望する研究室の教授（わたしの研究室の教授と元々交流があります）に直接メールを送り、留学できるかどうかを確認しました。快く受け入れてくださり、そこから細かな日程、一か月の研究内容を決めていきました。これが留学前の2か月を切っていたので、短期留学の学校への申請と重なり、忙しくなりました。もう少し早めから準備を進めておけば良かったと後悔しています。

・航空券と滞在先

大学の寮に滞在しようと考えていたのですが、向こうの教授が、国際寮も良いことを教えてくれました。そこでいくつかの国際寮に直接連絡をし、一か月間の滞在先を決めることが出来ました。大学の寮に滞在だった場合、もしかすると国際寮よりも様々な手続きが必要で急な滞在は無理だったかもしれません。

・ビザ

オーストラリア入国には **ETAS** というビザが必要です。ビザ発行の代行業者に頼み、発行しました。

・買い物

コンセントのプラグ（2個買っておいたのは正解でした）、海外対応ドライヤーとヘアアイロン、洗剤や洗濯ネット、ハンガーを買っていきました。日本食が恋しくなるかとも思い、さとうのごはんとレトルトカレー、お味噌汁も持っていきました。寮の共同で使えるものや、向こうで買うことは十分にできますが、お箸やスプーン・フォーク、マグカップは持っていけば良かったと思います。

【出発してから】

●研究生活●

わたしが一か月間所属した研究室は、大規模ですが一つひとつの部屋は細かく区切られており、わたしがいた部屋にはポスドクの方とベルギーからの短期留学生とわたしの3人のみでした。時々教授が部屋を訪れ、進捗状況の話をしました。研究内容としては、わたしが普段行う実験で扱う分子の合成を行いました。分子合成はしたことがなかったため、ほとんどすべての実験が初めてでしたが、ポスドクの方が一か月間、一から全て実験を教えてくださいました。

驚いたことは、学内にサロンと呼ばれる飲み屋があり、毎週金曜日には教授も含め、皆でお酒を飲みながら話す場があることです。研究について熱く語るみんなを見て、毎回刺激を受けていたのと同時に、圧倒されていました。ネイティブの速さと会話の内容についていけず、その集まりに参加するたびに

落ち込んだ思い出があります。そしてその分、英語の勉強を頑張ろうと思えました。生徒の研究に対する真剣な姿勢と、楽しむときは楽しむ、しっかりとしたメリハリを感じました。今回の研究を通して、分子合成の方法とその分析、装置の扱い方を学ぶことが出来ました。

研究室からアデレードのシティまでは歩いて 10 分ほどの距離なので、お昼休憩の時にシティ内をぶらぶらしたり、近くの川沿いの公園を散歩したりしました。教授のご自宅に食事に行かせていただいたことや、研究室のメンバーでワイナリーにも行き、大変有意義で楽しい時間を過ごすことが出来ました。

●日常生活●

国際寮での生活は本当に楽しかったです。大学の寮ではないため、様々な大学・職業（ナースやお医者さんもいました）、国籍、年齢の方がいて、国際寮にして良かったと思えました。オーストラリアにきて 3 日間ほどは、自分の英語能力の低さに落ち込み自分の部屋に籠っていたのですが、勇気を出して初めてリビングに出たところ、寮のメンバーが気軽に話しかけてくれました。それからは、リビングのソファで、皆で音楽を聴きながら夜遅くまで話したり、寮の周りを散歩したりしました。自分でリスニングの練習をすることも大切ですが、実際に会話をする方が、英語の上達に繋がると実感しました。

また、寮のメンバーはわたしと同じく、英語が第二言語の国の人たちです。そのため、多少リスニングやスピーキングができなくても、お互いに英語を練習したい、どうにか言いたいことを伝えたい、という気持ちは同じなので、気兼ねなく聞き直すことや、わかりやすく言い直すことが出来たと思います。

・ごはん

ほとんどが外食でした。中華料理屋や日本料理屋も豊富にあるので、日本食が恋しくなることはありません。留学して半月後にフライパンなどを購入し、少しでも自炊をしていました。スーパー（広すぎる）の食材はとにかく量が多いです。食パンを最後まで食べずに腐らせたことがあります。

寮にいた日本人留学生と、お好み焼きや手巻き寿司を振る舞ったりもしました。様々な国にあると思うのですが、リトルトーキョーという日本の物を扱っているお店があり、そこで粉などを買いました。宗教上豚肉が食べられない友達がいたので、鶏肉を使ったのですが、ここにも文化の違いを感じました。生魚はあまり食べない方が良いでしょう（笑）

・休日

寮からシティまではバスで 10 分ほどだったので、買い物に行くことや、寮の周りにランニングに行きました。ランニング中に野生のカンガルーを見た時は本当に驚きました。アデレードの近くにあるカンガルー島へ、1day ツアーで行くこともできました。寮や研究室のメンバーに観光地を教えてもらい、また車で連れて行ってくれたりもしたので、一か月でアデレードを網羅できた気がします。のどかで自然豊かで、本当に良い街でした。



【留学する上で大切だと思ったこと】

- ・ **早め早めの準備**（航空券・ピザ・滞在地）
- ・ **リスニング力を鍛えておく**→ネイティブは想像以上に速い。
- ・ **話しかける勇気**→きっかけは何でも大丈夫だと思います。受け身だけでなく、**Hello** のあとに **How are you?** と言ってみるなど。英語が出来ないから…と思わずにとりあえず話すことが大切です！
- ・ **日本語から離れる**→英語脳にするため、**SNS** を一時ストップする、日本と連絡を取り過ぎないようにする、テレビをつけて英語を流しておく、洋楽を聴くなど。

【ハプニング】

- ・ **Wi-Fi**→学内では学生用があったのですが、その他は寮の自室でしか繋がらないプランになっており、一か月少し不便に感じました。オーストラリア番号を貰える **SIM カード**（月額 5,000 円ほど）があるので、それをおすすめします。
- ・ **飛行機の遅延**→オーストラリア国内線の遅延で日本への飛行機に乗れなくなり、帰国が 12 時間ほど遅れました。深夜の空港に取り残されると怖いので、余裕を持ったフライトが必要です。

国際交流課の方をはじめ、たくさんの方のおかげでこのような貴重な体験をさせていただくことが出来ました。本当にありがとうございました！